

安藝進水式

0441

艦政本部長



會計課長

第四部長



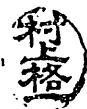
第三部長



部員



副官



參事官

發行

之長



大臣

昭和三年三月廿二日

次官



軍務局長



高員



傳達案

皇海軍工廠之於製造、軍艦安藝云来、四月

官房録

一〇〇〇

二

一頁

0442

海軍

十五日進水せしめん

右傳達ス

明治四年三月廿三日 海軍大臣

長崎鎮目録表

0443

至急

艦政本部長 (信)

第三部長 (福田)

第四部長

會計課長

部員

副官 (村松)

参事官 (吉川)

三共物 發

大臣 齋

四月十九日起案

次官 (信)

軍務局長



局員

三月十六日 上奏文 三月二十日 裁可 備

佈 允 裁 案

明治四十年三月

臣 臣

0444

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

海軍

軍艦進水仰

海軍大臣

左通奉仰 允裁候

是海軍工廠 於之製造ノ軍艦安藝丸

四月十五日進水セシメラル

0445

電

吳鎮守府 五三ノ號

具申

軍艦安藝奉ん四月廿五日午前檢時參格
分進水セシムル様致度以段具申候也

明治四十年三月十日

吳鎮守府司令長官 山内萬壽

海軍大臣 齋藤 實 殿



第三部長



官房第一〇四號

0446

艦政本部長



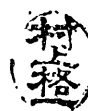
第三部長



會計課長



副官



參事官

四

五



大臣

次官



軍務局長代



副官



昭和四年四月十日起案

案

皇海軍工廠修繕ノ軍艦高藝中口備

官房第一五四號

手紙三十三

0447

リテ進水其後其方の執業其方以
中進水也

明治四年四月十五日 海軍大臣

侍従長宛

新制十時三十分

官房第一五四六三

皇海軍工廠之製造船隻等其方以

テ進水其後其方の執業其方以

明治四年四月十五日

海軍大臣

侍従長宛

東京氏宛長宛

(電報)

古

至急

副官

村松

參事官

發付書
し
期

四十年二月五日
起案

大臣

次官



軍務局長



局員



案

軍

兵海軍工廠
之
於
製造
戰艦
事

官房第
一〇七七號

海軍

0449

至急

副官

村松

参事官

發付

村松

大臣

海軍

四年七月五日

日起案

次官

海軍

軍務局長代

海軍

局員

海軍

田

村松

官房第一四二五號

七月十九日

執事

セシメラニキ

軍務安執任

案

海軍

0451

水部、御名代トシテ東伏見御所仁親王
御下ヲトシテ奉_レ進_ル旨 御沙汰御成_ル御
官内大臣ヨリ申越_ス之小糸トシテ也

明治四年四月五日 大臣

品致_ル長左 如心

近_テ治世_ノ善_ク割_リ、治世_ノ善_ク成_ル事_ノ可
及_ビ自_レ知_ル也、御付_ル御_成事_ノ公_ニ善_ク思_ハ念_ス也
定_ム、隨_ヒ也、御付_ル御_成事_ノ公_ニ善_ク思_ハ念_ス也

官房第

一四二二號

三 安未

0452

東海丸船主仁親王殿に奉り申す事
本船安藝進水式、本船代トシテ本船場可ト為
付テ本船、本船往横本船本船トシテ其ノ本船
船室士ヲ同日午前七時迄に本船トシテ本船
船水要証、内ニ隻ヲ之ニ随伴セシム様取付テ
明治二十五年四月五日

大臣

号陸司令長官

本船往横本船本船トシテ其ノ本船
同日午前八時本船本船往横本船
本船往横本船本船トシテ其ノ本船
同日午前八時本船本船往横本船

0453

官房第 四二二號

送

別紙 直 宮内大臣 高倉 大臣 申
裁 旨 之 由 案 付 裁 旨 直 條 候 也

明治二十五年四月廿六日 次友

付 信 封 書 封

東京 支 店 宛 封 書 封 各 通

(別紙 由 中 者 西 角 一 五 七 号)

0454

軍務局

電 込 四 月 号

海軍大臣 号 鎮守府ノ大七信

差支ノ痛シク字通ニ廻航セシムル件

海

海軍大臣

0455

紙 達 送



局 著	局 發	第	報 局
受信者 當務者	受信 午後	付信 午後	第
3	10時	9時	9
分	分	日	號
字	分	日	號

石氏所居人信受

Handwritten signature or name in the top right corner.

Large area of handwritten text, possibly a message or address, with some characters obscured by a thick black redaction mark.

送附

番號	著信	意 注	名氏所居人信發
第	第	他人宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋に直ち之を附置たる電報局所に返戻すべし決して取本へ直送し又は手渡すべし	
號	號		
印附日局著			

事記



製局刷印月四年九十百一第

0456

副官 村松

吉川 参事官

渡辺 長
尺也日

四十年四月四
日起案

大臣

次官



軍務局長 代



局員



要職(佐) 依仁親王殿下
電来 由長トシテ

0457

清に在るは古の言の流るる
 土の字を以て國名として流るる
 也

早稲月
 長久保

0458

一〇十
 一〇十
 一〇十
 一〇十
 一〇十

西
南
支
子

0458

● 市地定ノ事項たしらる

一〇十四年唐島の市地

一〇十五年唐島の市地

一〇十六年唐島の市地

市地定ノ事項たしらる
唐島及唐島の市地定ノ事項たしらる
唐島の市地定ノ事項たしらる

日

0459

大臣了

軍務局

丙第一五七號

封

来ル十五日吳海軍工廠ニ於テ軍艦安藝進
水式執行ニ付 御名代トシテ依仁親王殿
下ヲ被差遣候旨 御沙汰相成候條此
段申進候也

明治四十年四月二日

宮内大臣子爵田中光顯

海軍大臣齋藤 實殿

追テ侍從職幹事公爵岩倉具定、随
行被仰付候條此段申添候也

次官

四月二日

印

0460

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0461

至急

副官 村松

吉川 參事官

發付後

1949年12月5日 起案

大臣

次官

軍務局長代



局員



案

軍艦安藝

建造式

指名代

トシテ

官房第一〇三二號

毎車

0462

臨城可上和在依仁親王陵之青貴者
刻下幣之通由縁之有年以之付下也
及通縁也

明治四十年四月六日 次友

吳鑑方外之長友

返言殿之隨行、法者、山本倉之壽外在
記、由縁之付下中縁、

法付武友吉島中法、家令小野保知高等友

家後一人判任、山本倉之壽外一人

以上

0463

四月十二日午前八時
 同 今 午後七時三十七分
 同 十三日午後八時五分
 同 十四日午前七時三十三分
 同 十五日午前八時
 同 十五日午後
 同 今 午後九時三十三分
 同 十六日午前八時五十八分
 同 十七日午前九時二十五分
 同 十七日午後九時

宴會
 御臨幸アリ

新橋御發車
 京都御着御一泊
 京都御發車
 廣島御着御一泊
 宇品御發車
 宇品御上陸
 廣島御發車
 京都御着御一泊
 京都御發車
 新橋御着

0464

十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

「宮女」アトハ 伊勢市一丁目

東伏見宮

臣才ハ其例ナキニ
別此照會ニ付テ
可也

副官



参事官

田代

四十年四月八

日起案

大臣

次官



軍務局長代



官房第一〇五〇號

海軍工廠
製法
軍艦
藝女

要子

母

0466

東洋学研究所蔵
百七十七号
藤田鳴鶴
抄
書中本
十

海
軍

0467

四月六日附官房第一四三三号ノニヲ以テ海軍次
官ヨリ御通條ノ紙ヲ第拾九號ニ右ノ外
更ニ公文ニテ「未ニ十五日海軍工廠ニ於テ軍
艦守藝ノ進水式執行シ、右東宮武官長宛
御通條ニ接シ、以テ申進於右ノ該水面ニ
基キ武官長ヨリ言上 所為メ必要ニ有之ル事
申添ル也

明治四十年四月七日

黒水東宮武官

村上海軍省副官殿

東宮職

副官



參事官

發付
長

大臣

海

四年九月九日

出案

次官

外

軍務局長



局員



安未

陸名代

トレ

依

仁親王

後

二

年

於

安

官房第一四七〇號

三

海軍

0469

藝進式、水臨城、在、外、件、之、系
之、丙、第、一、七、〇、號、之、學、法、會、之、系
右、之、系、之、大、局、在、記、道、而、計、其、心
系、之、志、其、系、之、式、形、乃、由、其、系
係、也

明治四十年四月九日 次友

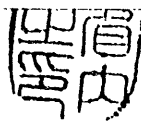
宮内次友 志

一、殿、之、志、其、系、之、系、及、隨、以、負、其、系、法
守、其、心、其、系、之、系、乃、由、其、系
一、字、其、系、之、系、注、其、系、之、系、用、上、之、系、之、系
富士、其、系、之、系、之、系、乃、由、其、系、之、系、之、系

時迄ニテ手あるの航セシメ又駆逐艦水雷
 艦由ニ隻ヲ之ニ随付セシムコト
 一隊ニテ手ある皇族、由次郎、松平
 皇族、松平、松平、松平、松平、松平
 之ヲ揚揚スルコト

訓味請

0471



無

軍務局

管内道 丙第 一七〇 號

御名代ト事依仁親王殿下軍艦安藝
通水式ノ御禮場ニ付奉差第刻別記
ノ通水決定相成ト相序品共相御終
迄ノ流石奉差相成後此儀及生照
合上也

馬場 四月六日

宣内 官官 青 紀 房 教 實

海軍 次官 上 藤 友 三 郎 殿

奉 御 途 中 八 時 七 分 御 行 上 事 此

官房 第一七〇 號 波 申 係 上 也

吳 浩 之 院 迄 迄 係 係

足



0472

1

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0473

四月十二日	午前八時	午後七時三十分	京都御着車	新橋御發車
同 十三日	午後八時五分	同 處 御 泊	同 處 御 發車	同 處 御 泊
同 十四日	午前七時三十分	廣 島 御 着車	同 處 御 泊	同 處 御 泊
同 十五日	午前八時	宇 品 御 乘 船	同 處 御 上 陸	同 處 御 上 陸
同 十六日	午後九時三十分	廣 島 御 發車	同 處 御 泊	同 處 御 泊
同 十七日	午前九時五分	同 處 御 發車	同 處 御 發車	新 橋 御 着車
同 十八日	午後九時	新 橋 御 着車		

0474

副官 村松

参事官 吉

發行 尾 日

四十年四月十日起案

大臣 齋

次官 齋

軍務局長 代

日

日

日

案

米十島。海軍工廠に於て執行戦艦運送

官房第一〇八八號

海軍

0476

洋 馬

東宮武官秋澤武官馬被差を以て

除くべき事

四月十日

大 臣

秋澤武官に付左様御承知アリタキ上り葉山

秋澤東宮武官ノ出發時刻ハ未ク決定シ居ラ

サルニ付決定次第直接當方ヨリ吳鎮守府

電報スレキニ付左様御承知アリタキ上り葉山

御用即チ東宮武官附ヨリ電話アリタリ

四月十日午前九時

0477

軍務局

第 三 二 八 號

來十五日吳海軍工廠：於ヲ執行ノ戰艦進
水式、東宮武官秋澤芳馬ヲ被差遣候
條此段及御通牒候也

明治四十年四月十日

東宮大夫候爵中山孝磨

海軍大臣齋藤實殿

追テ關係ノ向、通達方可然御取計
有之度候也

官房第 四 八 號

東 宮 職

0478

四 十 〇

右
軍令部 長

次長
第一班

平賀

副官 利格

吉川 參事官

發行
田中

昭和四年四月十一日起案

大臣 齋

次官

軍務局長 代

岡員

松村

田

右
第二部長

第二部長

部員

田

田

電報指令案
中野進水式臨行前各官邸下り案

0479

參照

船名明名借用片紙同船東京海軍用船期

月正期片紙部

字子年四月十日

皇太子御下

大正

行記

船名海軍用船片紙部

一三二号白く片紙部

0480

電

海
四月十日
年

大臣志
電
四月十日
吳松山友

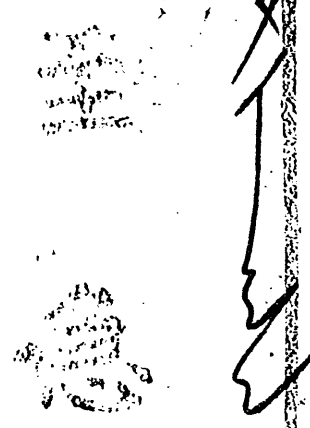
富士ニ麻疹患シ者四名発生セリ来
十五日安藝進水ニ信マセラル、赤名
代ノ宮殿下乗船ニハ也ニ相當ノ軍
艦ナキヲ以テ明石ヲ之ニ共ニ用セシメラシ
度就テハ同艦ノ東京灣ニ回航ヲ十八
日吹乞延期セシメラシタシ右抜告
ヲ事不刃取付テ了フ

軍務局

0481

電 報 送 達 紙

局 着		局 敬		受 信 人 所 居 名		
取 扱 者	電 報 午前 午後 後	受 信 後 午前 午後 分	第 八 八 日	報 局 號	電 報 記 号	
コ	キ	ウ	セ	リ	フ	ウ
レ	ト	ク	イ	キ	イ	ナ
ニ	モ	ト	ウ	ル	ニ	マ
キ	フ	ウ	イ	ル	シ	レ
ヨ	ク	ク	カ	キ	ハ	カ
ウ	フ	ハ	ハ	ニ	シ	カ
ク	フ	ハ	ハ	ハ	シ	カ
ク	フ	ハ	ハ	ハ	シ	カ
ク	フ	ハ	ハ	ハ	シ	カ
ク	フ	ハ	ハ	ハ	シ	カ



意 注

受 信 人 所 居 名

領 人 へ 送 る 電 報 領 受 票 領 受 後
電 報 領 受 票 二 枚 送 付 願 望
決 然 手 渡 申 込 手 渡 申 込 手 渡 申 込 手 渡 申 込

0482

電 報 送 達 紙

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信	午前 午後	時	分	字	第	報
			月	日	號	局	報
指 定							
事 記							
<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-family: cursive;"> キキ九二ノ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-family: cursive;"> キセヒカラ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-family: cursive;"> キセヒカラ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-family: cursive;"> キセヒカラ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-family: cursive;"> キセヒカラ </div>							
注 意							名氏所居人信發
他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此山ヲ符 箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスルカガラズ							

0483